

学校法人専修大学

平成26年度決算概要

事業報告概要

学校法人専修大学の平成26年度事業報告は、5月27日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、「21世紀ヒューマン」社会性の開発を達成するため、「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めるとともに、骨太の大学改革に取り組み、研究力の強化、競争力

のある大学の創造、学生支援の充実、ブランド力の強化、社会・地域貢献活動の充実等に注力した。専修大学は、魅力ある教育研究環境を再構築すべく、キャンパス整備を推進した。生田キャンパスでは、グローバル人材を育成する専修大学国際交流会館が26年4月に竣工し、6月より運用を開始した。新たなスポーツ施設となる生田第1体育寮・生田第2体育寮は、27年2月に竣工した。生

1 資金収支計算書

収入の部では、当年度収入合計が予算比0・33%増の275億8385万円(前年度比では11・96%増)となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0・26%増の343億6523万円となっている(前年度比では3・34%増)。

支出の部では、当年度支出合計が予算比0・69%減の276億8255万円(前年度比では4・56%増)で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み66億8267万円となっている(前年度比では1・46%の減)。

(1) 収入の部

① 学生生徒等納付金収入は、予算比0・04%増の197億808万円(前年度比では0・47%の増)。最終在籍者が専修大学で1万8944人、石巻専修大学で1130人となり、全

体では2万74人。最終在籍者は、前年度と比べ、全体で374人の減となっている。

② 手数料収入は、予算比0・27%増の9億7336万円(前年度比では5・58%の減)。このうち、入学検定料収入は、予算比0・35%増の9億3971万円(前年度比では5・56%の減)。入学志願者が予算と比べ専修大学で395人、石巻専修大学で325人の増となっている。

③ 寄付金収入は、予算比21・40%減の8716万円(前年度比では14・36%の減)。このうち、特別寄付金収入は、予算比19・88%減の8012万円。一般寄付金収入(平成26年度新入生の父母等による教育研究振興協力資金)は、予算比35・37%減の704万円となっている。

④ 補助金収入は、予算比0・14%増の14億5219万円(前年度比では12・51%の減)。このうち、国庫補助金収入は、予算比0・13%増の14億3862万円(前年度比では12・62%の減)。内訳は、経常費補助金が13億7187万円(前年度比では5・82%の減)、研究設備補助金が892万円、教育研究装置補助金が1512万円、施設高度化利子助成金が20万円、大学改革推進等補助金が4249万円となっている。

⑤ 資産運用収入は、予算比21・74%増の3億2556万円(前年度比では17・44%の減)。このうち、受取利息・配当金収入は、予算比27・36%増の2億6398万円(前年度比では22・03%の減)。

⑥ 資産売却収入は、固定資産売却収入で、神奈川県交通安全施設等整備事業計画に基づく伊勢原校地の有償提供による。

⑦ 事業収入は、予算比2

0・14%増の4億9110万円(前年度比では2・59%の減)。差異は、各種課外講座受講者の減、伊勢原セミナーハウス他利用者の減、石巻専修大学における受託研究費使用額の減等による。

⑧ 雑収入は、予算比5・03%増の5億1333万円(前年度比では41・25%の減)。差異は、専修大学と石巻専修大学における教職員の依願退職者の増による退職金財団交付金収入の増、科学研究費補助金の間接経費の増、生田校舎落雷被害による保険金受入の増等。

⑨ 借入金等収入は、予算どおりで21億円。神田5号館、生田第2体育館・第1体育寮の建築資金として、日本私立学校振興・共済事業団からの「耐震改築事業に対する長期低利融資」による長期借入金。

⑩ 前受金収入は、平成27年度入学者の入学手続における納入学費(翌年度の

品、生田第2体育館・第1体育寮新築に伴う設備品、石巻専修大学受託研究費、教員個人研究費、学生実験用設備品、学生寮新築に伴う設備品購入等の増

・ 消耗品費支出：5億1718万円(3420万円の増)

・ 神田5号館看板、教員個人研究費、研究用ソフトウェア、学内印刷機用消耗品、生田第2体育館・第1体育寮新築に伴う設備品、石巻専修大学受託研究費、教員個人研究費、学生実験用設備品、教育・研究用コンピュータシステム更新に伴うソフトウェア、学生寮新築に伴う設備品購入等の増

・ 印刷製本費支出：2億2105万円(1211万円の減)

・ 論集発行費、全学講義要項、課外講座テキスト、石巻専修大学奨学金寄付金、教員個人研究費印刷費等の減

・ 奨学費支出：4億4075万円(1499万円の減)

・ 家計急変奨学金、育友会奨学金等申請者数の減

・ 補助費支出：2億4771万円(1128万円の減)

・ 経営学部創立50周年学生生活動補助費、ゼミナール論集制作費、大学院生図書購入費・コピー援助費、教員個人研究費等の減

・ 修繕費支出：2億7768万円(6406万円の増)

・ 神田校舎教室他漏水対策工事、神田8号館自習室空調設備修理、生田9号館教室用空調設備修理、生田図書館照明器具修理、旧国際研修館用途変更に伴う耐震改修追加工事、研究室空調設備・照明器具修理、総合体育館埋設給水管漏水対策等工事、第1体育寮別館改修工事、生理実験室環境制御装置修理、体力測定室

田2・3号館跡地を活用する再開発計画については、大学院・教員研究室を中心とした高層棟校舎と学生のアクティブ・ラーニング空間を中心とする低層棟校舎を建設する計画の設計を進め、27年6月から工事に着手することを予定している。この校舎の完成により、生田キャンパスの景観が新たなものになる。

学士課程については、教育の質的向上を図るため、26年度入学者に、新たな学士課程教育(新カリキュラム)を導入した。研究力の強化にあつ

ては、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトなど6つの研究拠点を展開させた。また、新たなプロジェクトの採択や外部研究費の獲得増加に向けた支援体制を強化し、26年度の科学研究費助成事業採択件数は、新規と継続を合わせて前年度比21・1%増となっている。

大学評価(認証評価)については、公益財団法人大学基準協会の審査を受審し、「適白の認定を受けた。

石巻専修大学は、経営

学部において、震災後の東北地方の人材ニーズにこたえるべく、「問題解決型」人材の育成をめざす新5コース制(10履修モデル)を開始した。これにより、25年度に設置した人間学部、学科改組した理工学部と合わせ3学部がすべて新教育体制となった。キャンパス整備については、学内に建設を進めてきた「石巻専修大学ユニバーシティハウス」が、27年3月に竣工し、入寮を開始した。

大学の特色のひとつである地域貢献については、「復興大学」等の事業(詳細な事業報告については、ホームページをご覧ください)

低酸素制御装置修理、石巻専修大学2号館実験室及び5号館空調設備修理、体育館雨漏り対策工事等の増

・ 委託費支出：16億3726万円(4504万円の減)

・ 公務員試験講座等各種課外講座委託費、学生生活実態調査集計委託費、図書整理及び蔵書点検委託費、ターミナル及びバスラッシュ・全国入試実施費用、教育事務所管人材派遣業務委託費、石巻専修大学学生自宅通学サポートバス運行委託費等の減

・ 謝礼費支出：1億452万円(2815万円の減)

・ 各種講座講師謝礼費、授業科目外部講師謝礼費、教育実習謝礼費等の減

③ 管理経費支出は、予算比3・53%増の16億5702万円(前年度比では1・09%の増)。

・ 準備品費支出：2329万円(1693万円の増)

・ 生田第2体育館・第1体育寮新築に伴う管理用設備品、旧国際研修館用途変更に伴う管理用設備品、石巻専修大学学生寮新築に伴う管理用設備品購入等の増

・ 委託費支出：4億4475万円(1834万円の増)

・ 神田6号館空調設備改修工事設計費用、管理事務所管人材派遣業務委託費、石巻専修大学学生寮募集スタイルメール費用等の増

④ 借入金等利息支出は、予算どおりで671万円。

⑤ 借入金等返済支出は、予算どおりの返済で7億4332万円。

⑥ 施設関係支出は、予算比0・33%減の36億1667万円(前年度比では19・

42%の増)。

※⑥の主な内容については、後記の「主な施設等整備事項」に記載。

⑦ 設備関係支出は、予算比1・98%増の13億7958万円(前年度比では82・14%の増)。

このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比0・59%減の10億9710万円で、差異は、神田8号館視聴覚設備品、石巻専修大学受託研究費、奨学金寄付金、学生寮新築に伴う機器備品購入等の減

⑧ 資産運用支出は、予算比32・63%減の4億1304万円(前年度比では9・26%の増)。

退職給与引当資産への繰入支出が5000万円、法人基金準備資産への繰入支出が1億6300万円、第3号基金引当資産支出が4万円、施設設備準備資産への繰入支出が2億円となっている。

⑨ その他の支出は、前期末未払金支払支出、前払金支払支出等で15億4808万円。予備費の使用額は少ない。また、資金支出調整勘定(支出の振替控除科目)は、期末未払金及び前期末未払金で15億9750万円。

【主な施設等整備事項】

① 神田1号館階段照明設備更新工事 ② 神田2号館教室視聴覚設備設置工事 ③ 神田5号館階段手摺設置工事 ④ 神田6号館国際会議室視聴覚機器更新工事及び機械式駐車設備改修工事 ⑤ 神田8号館視聴覚設備更新工事 ⑥ 生田4号館視聴覚設備更新工事及び非常放送設備設置工事の生田9号館図書庫積層書庫空調設備交換工事及

びAVプラザ電気設備工事 館改修工事⑧旧国際研修館用途変更に伴う耐震改修工事⑨生田10号館屋外投光器設置工事⑩新生田2・3号館(仮称)新築工事⑪生田国際交流会館新築工事⑫生田会館トイレ等改修工事⑬生田食堂棟厨房ガス緊急遮断弁設置工事⑭生田第2体育館・第1体育寮新築工事⑮生田第1体育寮別ハウス)新築工事

① 学生寮(ユニバーシティハウス)新築工事

2 消費収支計算書

消費収入の部では、帰属収入合計(学校法人の負債とならない収入)が予算比0・26%増の237億557万円となった(前年度比では3・50%(8億5921万円)の減)。基本金組入額合計が、予算比77・21%減の11億4417万円(前年度比では54・35%の減)となり、消費収入の部合計は、予算比21・15%増の225億6139万円(前年度比では2・28%(5億276万円)の増)となった。

基本金組入額合計の内訳は、第1号基本金 11億4413万円の組入(当年度取得資産及び借入金返済等の組入額)

第2号基本金 当年度組入額なし(将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額)

第3号基本金 4万円組入(校友会研究奨励基金等の組入額)

第4号基本金 当年度組入額なし(恒常的に保持すべき資金として定められた額の組入額)

消費支出の部では、消費支出の部合計が予算比0・67%増の244億9850万円(前年度比では0・32%の減)で、退職給与引当金繰入額7億9466万円を

受贈および編入図書 1億3342万円

その他の受贈資産 1961万円

この中には、現物寄付金等が含まれている。

内訳

① 寄付金は、予算比7・97%減の2億4020万円(前年度比では8・06%の減)。

② 資産売却差額は、予算外で170万円。神奈川県交通安全施設等整備計画に基づく伊勢原校地の有償提供による固定資産売却差額。

(2) 消費支出の部

① 人件費は、予算比0・15%減の143億8244万円(前年度比では1・73%の減)で、退職給与引当金繰入額7億9466万円を